

子宮頸がん検診従事者講習会のお知らせ

(東京都生活習慣病検診従事者講習会)

- 1 実施日：平成30年11月29日(木曜日) 15時00分から17時00分まで
- 2 会場：東京都がん検診センター 3階講堂
- 3 対象：都内の施設で、子宮頸がん検診に従事している医師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師、看護師、事務職、保健所・区市町村の職員 等
- 4 受講定員：先着50名程度
- 5 受講料：無 料
- 6 申込方法：①『インターネット』 当センター ホームページ(講習会・研修会希望の方へ)から「インターネット予約」にてお申込みください。
URL http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/juujisya_kousyuu.html
②『FAX』 裏面申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
- 7 申込締切：定員に達し次第(当センターホームページをご確認ください)
- 8 テーマ及び講師：

「子宮頸がん検診における細胞採取の基準化について」

千葉徳洲会病院 婦人科部長

佐々木 寛 先生

＜講習概要＞ 現在我が国では、子宮頸がん検診における細胞診検体採取の専門医や認定医はなく、検診現場では主に日本産科婦人科学会認定専門医が細胞診検体採取を行っている。産婦人科専門医は婦人科腫瘍専門医、産科専門医、生殖内分泌専門医に大別されている。従ってがん検診や婦人科腫瘍専門医以外の産科や生殖専門医は必ずしも精度管理に精通した産婦人科医が従事しているわけではない。従来子宮頸がん検診の教書がなく、産婦人科のレジデントの修練項目にも頸がん検診についてはないことが採取の制度のバラツキが生じる一因となっている。日本婦人科がん検診学会では、「子宮頸がん検診の手引き書」を作成し、来年には発刊予定である。制度管理上の採取のバラツキを改善するために現在できる手段としては、採取器具の工夫、液状検体細胞診の導入である。しかし妊婦に対しては出血の問題で綿棒が容認されている。妊婦に対してはスポンジを用いる方法も検討されている。今後採取法についても規格化が必要と考えている。

＜お申込み・お問合せ先＞

公益財団法人 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当：三上

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL：042-327-0201 FAX：042-327-0297

E-mail：togan@tokyo-hmt.jp

※東京都生活習慣病検診従事者講習会の「お知らせ」及び「申込」は、次のホームページから。

URL：http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/juujisya_kousyuu.html